

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1学年

①学習グループ

年間指導計画

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		国語・数学（知）			学習グループ名	高①
目標・ねらい		(1) 物語の中の言葉ややり取り、音や動きに興味を向けて、見たり聞いたりする。 (2) 具体物に気付いて、注視、追視をして、操作しようとする。 (3) 教師の言葉掛けや関わりに対して、視線や表情、身振り等で表現する。				
担当教職員 *学校介護職員		高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数		212 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）			指導上の工夫
4	・物語を読もう 季節を感じよう 色、気持ちを感知しよう ・身近な数字	30	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。（注視、追視） ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。			・生徒の姿勢や環境づくり、教材の選定及び提示の位置に配慮する。
5						
6						
7						
9	・物語を読もう 季節を感じよう 色、気持ちを感知しよう ・身近な数字	45	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。（注視、追視） ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。			・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかけられるような教材や題材を使用する。 ・生徒からの表出を見逃さずに受け止め、気持ちを共感し、フィードバックを行う。 ・読み聞かせのスピードに配慮する。 ・物語の再現活動では、生徒の見える範囲や手指の動きに配慮して教材を作成したり、配置したりする。
10						
11						
12						
1	・物語を読もう 季節を感じよう 色、気持ちを感知しよう ・身近な数字	10	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。（注視、追視） ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。			
2		20				
3						
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実	107	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動			①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽(知)			学習グループ名	高①
目標・ねらい	(1) 音や音楽に興味をもち、音楽表現に必要な身体表現、楽器、歌唱につながる力を身に付ける。 (2) 多様な音楽に触れ、音楽に気付き、興味・関心をもって聴くことができる。 (3) 教職員と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かし生活の中で音楽を楽しむ態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	37 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	音を楽しもう	2	○身体表現、歌唱、鑑賞 ◆新しい集団に慣れ、一緒にダンスや歌唱、鑑賞を通して表現する楽しさを味わう。		・生徒の表出を促し、表出を待つ。 ・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。
5	楽器を鳴らそう	4	○打楽器演奏、鑑賞 ◆音の重なりを感じ、自ら楽器を鳴らす楽しさを感じ取る。 ◆季節の歌を知り、春を感じる取る。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
6	世界の音楽	4	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆世界の挨拶を知り、音楽合わせて発声する。		・様々な国の特徴的な映像や衣装を示し、雰囲気味わえるようにする。 ・「おはよう」「ありがとう」など、生徒の身近な言葉を歌詞に置き換える。
7		3			
9	日本の音楽	4	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆合図を見て演奏する。		・祭りの音楽や掛け声、音楽を聴き、雰囲気が味わえるようにする。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
10		4			
11	合奏しよう	3	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆音楽や光、楽器を通して好みの表現方法を見付ける。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
12		4			
1	日本の伝統音楽	3	○楽器演奏 ◆日本の伝統音楽に親しむ。 ◆お箏に興味をもち、自助具を使って音を鳴らす。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。 ・演奏するタイミングを視覚的に表示する。
2	季節を表現しよう	3	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆簡単なルールに従い、身体を動かす。 ◆季節の情景を音楽や光、楽器を通して味わう。		・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
3		3			
通年	始まりの歌 終わりの歌	37	○歌、チャイム ◆授業の始まりと終わりを意識できるようにする。		・1年を通して継続して取り組み、意識できるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名		美術			学習グループ名	高①
目標・ねらい		(1) 表現方法に応じて道具を選んで使用する。 (2) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。				
担当教職員 *学校介護職員		小林真 高橋尚子 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数		71 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4 5	オリエンテーション 平面作品制作 ポスター制作	13	○絵画、ポスターを鑑賞する。 ○アクリル絵の具やパステル、色鉛筆、マーカーなど様々な画材を使ったモダンアートを制作する。 ◆混色や色面構成を楽しむ。			・手の操作性に合わせた用具を工夫する。 ・細かい部品の異色に注意する。 ・様々な色や感触に触れられるように課題を設定する。 ・鑑賞や振り返りの時間を十分に設けて、活動を評価する。
6 7	立体作品制作	15	○彫刻作品を鑑賞する。 ○紙粘土を使った彫刻作品の制作を行う。 ◆素材に触れて変化する形を感じとる。 ◆積極的に作品に関わって制作を楽しむ。			
9 10 11	工芸作品制作	22	○日本の伝統工芸を鑑賞する。 ○日常で使用する工芸品の制作を行う。 ◆形の変化を楽しんで制作する。 ◆様々な素材の感触を体験する。			
12 1	デザイン作品制作	11	○水墨画を鑑賞する。 ○墨絵の制作を行う。 ○デザインの制作を行う。 ◆墨の香りや和紙の素材を感じとる。 ◆手を積極的に動かして、変化する形に注目する。			
2 3	卒業展示用作品制作	10	○今までの共同制作を鑑賞する。 ○共同制作を行う。 ◆グループで協力して取り組む。			
通年	鑑賞		○友達や自分の作品を鑑賞する。 ◆作品から感じたことを表情や発声で表現する。			

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育（知）			学習グループ名	高②
目標・ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、回転や揺れ等の前庭感覚に働きかける活動を行い、眼球運動やボディイメージの向上を図り、姿勢保持の力を高める。 (2) 自発的、他動的を含め、運動を多く行うことで随意的な動きをより多く引き出す。 (3) 自身の動きや表出のフィードバックを得ることで達成感を感じ、自発的に身体活動を行う意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	小林真 高橋尚子 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動 リトミック	3	○柔軟ストレッチ運動を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に 関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	7	○体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		体育祭に向けての見通しがもてるようにテー マソングを用いたり、回数を重ねたりする。
6					
7	水泳	6	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を生かした活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図 る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行 う。
8					
9					
10	体づくり運動 「マット運動」	4	○傾斜を利用した回転や滑り降り、左右の傾き運動、エアートランポ リンでの上下運動、回転ボード等、前庭感覚や固有覚を刺激する運動 に取り組む。 ◆揺れや傾きに対して、自発的にバランスをとるような姿勢の保持や 変換をすることができる。		無理な動きがないように、生徒の関節の可動 域や緊張具合を把握し、安全に留意して行 う。
	球技「ボッチャ」	7	○ボッチャボールを直接投げたり、傾斜台やランプを使用したりし、 自身の得意な投球方法を見つける。 ◆目的（ボール）に注目し、目と手を協応させて意図的に行動（投 球）を起こすことができる。 ◆自身の行動（投球）と周囲の変化（賞賛や笛の合図）のフィード バックにより因果関係が分かる。		自身の順番を意識したり、動かす部位を意識 できるように言葉掛けを行う。
12					
1	球技「ハンドサッカー」	8	○ポイントゲッターやスペシャルシューターのポジション練習 ◆スペシャルシューターやポイントゲッターの課題が分かり、シュート を決めることができる。		互いに応援し合う雰囲気を作る。 シュートを決めたいという意欲を引き出せる ように、本人にあったシュート課題を設定す る。
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	高①
目標・ねらい	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 郭 米川 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	39 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。		一年間の流れを知り、見通しをもてるようにする。
5	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援ぐグッズを作成し、練習の段階から本番の雰囲気を味わえるようにする。
6	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
7		3			
9	墨東祭に向けて	9	○発表内容の企画 ○大道具、小道具作り ○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。		発表に向けて、自分の意見を発表する場を設定する。
10					写真や映像などを活用して、具体的に振り返ることができるようにする。
11	墨東祭に向けて	4	○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。		自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		写真や映像などを活用して、具体的に振り返ることができるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	高①
目標・ねらい	(1) いろいろな姿勢をとり、変形や拘縮の進行を可能な限り抑制する。 (2) 触覚防衛反応を軽減し、手指の探索活動を促し、認知理解の力を高める。 (3) 苦手な動きを補う力を身に付けたり、受け止めたりする。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	421 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	個別の取り組み ・健康の保持 ・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握 ・身体の動き ・コミュニケーション	421	〇各部のストレッチ 〇肘立て、膝立て等支持姿勢の保持 〇立位、ウォーカー歩行、バランスボールでの座位など ◆身体機能の維持・向上 〇圧迫タッチ、スライドタッチなど ◆触覚防衛反応の軽減 〇電子ギター、ビー玉落としなど ◆手指の探索活動・目と手の協応動作の向上 〇スイッチ教材など ◆因果関係理解、永続性理解の向上 〇リラクゼーション、スヌーズレン ◆心理的な安定		・安全に留意しながら指導する。 ・立位台、ウォーカーなどを使用して、個々の実態に合った指導をする。 ・繰り返し取り組み、積み重ねを大切にす る。 ・個々の生徒の実態把握を行い、自立活動の項目に沿って指導のねらいを設定する。 ・自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 ・その日の健康状態、気持ち、身体の状態に合わせて、適宜指導内容を設定する。
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導			学習グループ名	高①
目標・ねらい	(1) 個々の課題に応じた、日常生活に必要な力を身に付ける。 (2) 様々な人と関わり、要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力へつなげる。 (3) 食事のおいしさを感じながら、安全に食事をすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	74 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	通年 日常生活の指導 手洗い、身支度、食器・食品の運搬、配膳の仕方、挨拶、食事のマナー、偏食の矯正、よく噛んで食べること、食器の後始末、歯磨き、係活動等	74	○挨拶をしよう ●個に応じた方法で、挨拶をすることができる。 ○荷物の準備、片付け ●自分の荷物へ意識を向け、準備や片付けをすることができる。 ○摂食・水分摂取 ●介助を受け入れ、安全に水分、食事をする。 ○歯磨き ●介助への協力動作の力を培う。		・マカトンサインを取り入れ、生徒の自発的な挨拶を促す。 ・巾着やビニール袋を活用し、操作しやすい環境設定をする。 ・食具、食形態、姿勢をよく確認しながら、安全に行うようにする。 ・姿勢や口の中に残っているものに気を付ける。
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習			学習グループ名	高①
目標・ねらい	(1) 季節の行事や食べ物、素材に触れる活動を通して文化や生活への興味関心を広げる。 (2) 挨拶や気持ち、要求などを、表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (3) 身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、喜びを共感する。				
担当教職員 *学校介護職員	小林真 高橋尚子 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	142 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	季節を感じよう「春・夏」 ①予定表を作ろう(前期) ②春を探そう ③草花を育てよう ④清掃活動 ⑤買い物しよう	71	○自己紹介、前期の予定表作り ◆予定確認を通して、新しい学部での生活に見通しをもつ。		様々な感触の素材や紙を切る・ちぎる感触を感じながら作成する。
5			○戸外活動 ○体育祭応援練習 ◆戸外活動を行い、風や日差し心地よさを感じ、春の草花の観察を行ない、季節を感じる。		応援練習などで当日までの期待感を高める。シャボン玉等を用いて視覚的にも風を感じられるようにする。
6			○草花・野菜を育てる。 ◆植物を育てる活動を通して、自然を愛する心情を養い、食に対する理解を深める。		土の感触や水の心地よさを感じられるようにする。スイッチ等、ICT機器を用いて植物の世話をする。
7			○清掃活動 ◆自分の役割を意識し、役に立つ喜びを感じられるようにし、進路学習へつなげる。		役割を提示、分担する。きれいになったところが視覚的に分かるようにする。
9			○買い物・植物の収穫と加工 ◆植物を収穫し、成長の喜びを感じる。 ◆植物の加工に必要な材料を調べ、実際に購入して社会経験を積む。		土の感触や水の心地よさを感じられるようにする。社会体験の練習を繰り返し行い、見通しがもてるようにする。
10	季節を感じよう(秋・冬) ①予定表を作ろう(後期) ②草花を育てよう ③社会見学事前事後学習 ④ゲームを楽しもう ⑤冬を楽しもう ④年末年始の過ごし方 ⑤外国語に親しもう ⑦1年間のまとめ	71	○後期の予定表を作る ○植物の収穫と加工 ◆予定確認を通して、後期の生活に見通しをもつ。 ◆植物を収穫し、成長の喜びを感じる。		前期の活動を振り返り、後期の予定を確認することで学年の折り返しを意識できるようにする。
11			○社会見学前・事後学習 ◆公共の施設を見通しをもって利用できるようになる。		模擬体験を繰り返し、見通しがもてるようにする。
12			○レクリエーション ○買い物学習・年賀状 ◆戸外活動や季節の行事にちなんだゲームを、友達と一緒に楽しむ。 ◆年賀状の購入や作成、ポスト投函をし社会経験を積む。		友達との協力や競い合いでお互いを意識できるような競技の設定を行う。補助具や自具を用いて自分の力でできるよう支援する。
1			○大掃除・正月遊び ◆伝統的行事や遊びを通して、日本の文化を知る。掃除をすることで他者の役に立つ経験をし、集団の一員としての役割を意識する。		大掃除や年始の挨拶などで学部の交流を深める。役割を提示、分担する。きれいになったところが視覚的に分かるようにする。
2			○ALTの活動 ○バスボム作り・手浴足浴 ◆外国の行事や遊び、歌などを通して、外国の文化に親しむ。 ◆お湯の温かさやバスボムの香りを感じてリラックスできる。		転倒ややけど、バスボム使用後はお湯ですすぐ、湯冷めしないようにするなど安全衛生面に留意する。
3			○振り返り・感謝の活動 ◆1年間の学習を振り返り、お世話になった人への感謝や、卒業生へのプレゼント作りを通し、集団の一員としてお互いを意識する。		ICT機器を活用して、学習の振り返りやコミュニケーションをサポートする。